

No.2 2023年12月10日

待降節(アドヴェント)第二主日礼拝  
 説教『恐れるなマリヤよ』

山根眞三師  
 司会 神笠千愛さん

奏楽 招詞 ヤコブの手紙 5章13~16節

主の祈 (564)

讃詠 5 4 6  
 交読詩 編 詩 8 0 編

祈禱 美歌 21-2 3 6

使徒信條 (566)

聖書 ルカ福音書1章26~38節

説教 (口語訳83頁、新共同訳100頁)

『恐れるなマリヤよ』

祈禱 美歌 9 5

感謝 報告 5 3 9

頌祝 禱 奏

次週の礼拝(待降節アドヴェント第二主日礼拝)

説教『恐れず愛しなさい』

マタイによる福音書1章18節~24節

招詞 I コリント人への手紙4章5節/交読詩85編

讃美歌 546、21-243、96、540

礼拝当番

今週 10日 司会 神笠さん 献金 根角さん  
 次週 17日 司会 高橋さん 献金 剛家さん

会堂清掃奉仕 12月15日(金)  
 午後4時~ めぐみ幼稚園保育者

本日の集会

★教会学校 午前9時45分  
 ★コーヒータ임 礼拝後~  
 それぞれの思いを語り合しましょう。

今週の集会/スケジュール

- 5 庚午小学校学校協力者会議 12月11日(月)18:00~
- 5 西分区拡大委員会 12月12日(火)16:00~18:00
- ※ めぐみ幼稚園誕生日礼拝 12月15日(金)10:00~
- 🔔 ヒロシマハンドベルリンガーズクリスマスコンサート 12月16日(土)14:00~16:00 於: 広島西部教会

次週以降のスケジュール等

- レコードコンサート 12月17日(日)13:00~15:30  
 モーツァルト アイネ・クライネ・ナハトムジークK525  
 ディヴェルティメント K136~138、  
 アルビノーニ 弦とオルガンのためのアダージョ  
 コレツリ/マンフレディーニ 合奏協奏曲8番/12番
- ※ めぐみ幼稚園クリスマス祝会 12月21日(木)10:00~  
 少ない園児たちが精一杯お祝いします。覚えてお祈り下さい。
- 5 広島拘置所教誨奉仕 12月21日(木)14:00~16:00  
 施設にある方の信仰生活を覚えてお祈り下さい
- ※ めぐみ幼稚園終業式 12月22日(金)10:00~  
 最も充実した二学期の歩みを終えます。神さまの導きと恵みを感謝。休み中も神様の守りがあるよう祈ります。

◎ 12月教会役員会報告

1. 教区通信により教区内の情報を交換した。
2. 10月分会計報告を承認した。  
 (司会当番)12/17高橋さん、12/24根角さん、12/31吉丸さん、  
 1/7 市川さん、1/14 長本和さん、1/21 神笠さん、

◎ クリスマス特別献金

感謝と献身の祈りの内にクリスマス特別献金を捧げましょう。今年の予算は48万円です。

先週の集会	男	女	計
教会学校	0	0	2
主日礼拝	3	12	15

◇今週の説教要旨(待降節アドヴェント第二主日礼拝)  
 『恐れるなマリヤよ』ルカによる福音書1:26~38  
 クリスマス関係の出来事で驚いたことは、ルターのクリスマスブックを読んだときだった。マリヤの年齢が、私の考えていた年より遥かに若く考えられていたことだった。受胎告知と称せられる有名な絵画の殆どがルターの考える女性よりも年齢は高く考えて描かれている。ルターは16歳マリヤが受胎告知の出来事に遭遇しても、大変冷静に対応したことに驚きを示している。聖書に戻ろう。ザカリヤが神殿の聖所でガヴリエルの告知を受けて6ヶ月目。それはガヴリエルの告知が現実となって人々から認知されていたことを示す。天使が具体的に人に告知したことは事実なることを示している。ルターが驚いた若い女性マリヤのところにガヴリエルが現れた。マリヤはルターの言うように大変若い女性であるが、彼女はダビデの血統にあるヨセフと婚約中なのだと報告される。この報告はマリヤの状況が決して自由ではないことを示している。そんなマリヤにガヴリエルは恵まれた女よおめでとう。主があなたと共におられると語った。普通主があなたと共におられるのような挨拶は、当時の状況では戦地に赴く戦士に死をも覚悟して行くようにと語られた言葉だ。それはマリヤにとっては大変異常なものだった。そのような状況にマリヤが恐れを抱いたとしても不思議ではない。主の恵みが注がれるような状況には、人にとって恐れを抱くほどの驚きがあることを示している。ガヴリエルはそんなマリヤに恐れるなマリヤと呼びかけた。生きることは素晴らしいことだが、同時に恐れなければならないこともある。そのようなマリヤに恐れるなと語られた。あなたはヨセフでなく、神による子どもを産むことになる。この告知をマリヤは心から信じた。お言葉どおりこの身になりますように。ここに救いがある。